

市政懇談会(三芳公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月18日(木)19:30~21:01

参加者：120名(市民 103名、職員 17名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	・下水道が供用開始されてから、6か月以内に排水設備を設置してくださいとのことであるが、この期限を越えると罰則等があるのか。	【生活環境部長】 ・結論からいうと、罰則規定は設けていません。ただし、くみ取り便所を改造して水洗化する場合には、下水道法により、供用開始の日から3年以内となっており、遵守されない場合は、改造命令が出されることとなります。この命令に従わない場合には、罰則規定(30万円の過料)があります。下水道については、供用開始ができる段階になれば、早めに接続をお願いします。	—	・生活環境部
2	・下水道への接続工事費用の市からの融資について、対象条件や口座振替による返済方法を伺いたい。	【生活環境部長】 ・供用開始から3年以内に接続をしてもらうということが大前提になりますが、資金不足額について、一定の条件を満たした場合、市が融資の斡旋を行い、金融機関から融資を受けることができます。融資に対する利息分は市が負担することとなり、返済は融資の額に関わらず、1か月に1万円となります。無利子での融資となるので、この制度を活用していただき、早期の下水道への接続をお願いします。口座振替による返済方法については、金融機関との手続きになりますが、対応可能であると思われます。	—	・生活環境部
3	・粗大ゴミの処分について、ゴミカレンダーを参考にしているが、布団やマットレス、座布団などイラストで示している。 ・粗大ゴミの処理券について、当該年度以前の処理券は、使用することが可能かどうか。また、足りない時には、市の窓口で、無料でもらうことができるのかどうか伺いたい。	【生活環境部長】 ・ゴミのカレンダーについては、一枚の紙に、様々なゴミについての情報を記載しており、それがかえって、わかりにくいところがあると思いますので、随時修正を行いたいと思います。 ・ゴミ排出量の平準化、減量化を図るため、処理券を1年で1世帯当たり10枚を無料配布しています。その枚数を超えた場合については、市の窓口で1枚100円で販売しています。処理券については、当該年度のみでの使用となります。また、その他の燃えるゴミ袋、燃えないゴミ袋の指定ゴミ袋についても、それぞれ、年間の規定枚数を交付することにより、ゴミの減量化に努めていただきたいということで、無料配布しております。こちらは、年度を越えて使用しても大丈夫です。なお、指定のゴミ袋が余っている場合には、随時引き取りを行っているので担当課まで持ってきてください。	—	・生活環境部
4	・粗大ゴミの搬出について、前日の夕方くらいから搬出されている。自分も前日に出し、当日確認に来たら処理券がなくなっていて、出したゴミが残っていることがあった。このような事がないよう、収集日当日に出すように徹底してほしい。	【生活環境部長】 ・粗大ゴミに関わらず、すべてのゴミについて、カレンダー通りに収集日当日の朝8時までに出してくださいと、お願いしています。当日のごみ出しについては、広報誌などを通じて再度徹底していきます。現実的には、前日の夜に搬出されている方がおり、出されたゴミの持ち去り行為を行う等、一部の違法行為者がおりますので、職員による巡回パトロールを行い、対応しています。持ち去り等の行為を発見した場合には、市までご連絡いただきますよう、ご協力をお願いします。未回収の粗大ゴミについては別途回収しています。	—	・生活環境部
5	・防災行政無線での放送について、スピーカーが少ない塔があったり、学校や公民館、他の地区の集会所からの音が反響したり、放送内容が聞き取りにくいので、改善してほしい。また、三芳地区の防災行政無線設備がどこにあるのかも合わせて伺いたい。	【市民安全部副部長】 ・お問い合わせの件についてですが、4月の緊急地震速報の誤報や6月の訓練時に、市内全域のスピーカーから、一斉に放送された場合のご指摘であると思います。他の地区からも同様の意見があり、検討した結果、音声が重複する放送設備については、一部停止することとし、順次試験を行っています。三芳地区については、8月30日に予定しているので、もうしばらくお待ちいただけますよう、お願いします。また、スピーカーが少ない塔については、隣接する他の設備により補うこととしています。 なお、三芳地区内の防災行政無線設備は、三芳公民館、三芳小学校、河北こども園に加え、自治会の放送設備を利用している分が、三芳北集会所と六反地集会所となっています。	—	・市民安全部

市政懇談会(三芳公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月18日(木)19:30~21:01

参加者：120名(市民 103名、職員 17名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
6	・小学校などの避難所に指定されているところについて、食料は備蓄していないとのことだが、一定期間安心して生活できるように、食料の備蓄及び機能の充実を図ってほしい。	【市民安全部副部長】 ・三芳地区の指定避難所として、三芳小学校、三芳公民館、北地域交流センターがあります。市内全ての避難所には、備蓄倉庫に発電機、投光器、簡易トイレを順次備えている途中ですが、各施設には既に、毛布が20~30枚、手回し発電式ラジオライト、簡易トイレを備え付けています。食料については、市内旧市町単位の拠点、ここでは東予総合支所から搬送することとなり、三芳地区の指定避難所には、備蓄食料はありません。ただ、先般の熊本地震を教訓とし、5年間でアルファ米等を55,000食を準備する予定にしています。避難所は一時的とはいえ、見知らぬ方が集団生活をするということで、快適な環境とは程遠い状況であるのが現実です。そのため、各ご家庭でも冷蔵庫内の在庫を含め、1週間分の備蓄が可能となるよう、家具の転倒防止・建物の耐震化を行い、また、これらの対策により、避難所に行かずに済むような、日頃からの取り組みをよろしくお願いします。	—	・市民安全部
7	・市の説明の中で、マグニチュード9.1の巨大地震が発生する可能性は、極めて低いという説明があったが、最悪の事態を想定した防災対策を進めてほしい。	【市民安全部副部長】 ・平成25年に公表された愛媛県の地震被害想定における南海トラフ巨大地震では、千年に1度、あるいは、それよりもっと発生頻度が低い、最悪のケースとなっておりますと、説明をさせていただいております。これに基づき、県や市では、各種の計画や対策を進めておりますので、ご理解いただきたいと思います。	—	・市民安全部
8	・愛媛県の地震被害想定によると、西条市の被害が県下で最も大きいものとなっているが、防波堤や護岸が機能すれば、被害は少ないものとなる。国や県に働きかけ、防波堤や護岸の補強工事を積極的に推進してほしい。	【県・河川港湾課長】 ・今回の愛媛県の地震被害想定は、堤防が全て沈んでしまうことを仮定した被害想定となっております。想定される断層地震や南海トラフ地震などを基に、三芳地区の海岸護岸を調査した結果、少し沈むが津波の高さもクリアしており、耐震性能が確保されていることを確認しております。県内の海岸も長いので、このような調査結果を参考に、優先順位をつけて改修に取り組んでいるので、ご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。 なお、具体的にご要望があれば、遠慮なくご意見いただきたいと思います。	—	・建設部
9	・大明神川の土手の草刈を、自治会で年2回行っている。テレビで見たのだが、ヤギに土手の雑草を食べてもらうことで、きれいにしている事例があり、効果があがっているとのことなので、大明神川でも実施してはどうか。	【県・河川港湾課長】 ・大明神川の堤防は、確認するために年1回除草を行っております。市道安用実報寺線に架かる宮内橋の上下流にある木を、数本伐採しました。さらに、今後、著しく流れを阻害している木については、予算要望を行い、木の伐採を実施したいと考えています。 【市長】 ・良い案だと思います。	—	・建設部
10	・大明神川の下を、JRの線路が通過する、大変珍しい天井川となっており、全国で2番目に長い。それを名所にできるような方法を考えてほしい。	【県・河川港湾課長】 ・良い提案だと思います。担当部署に持ち帰って検討します。 【市長】 ・桜の木を植えるのは難しいので、地元でも何か検討していただき、憩いの場にもなればよいと思います。	—	・建設部

市政懇談会(三芳公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月18日(木)19:30~21:01

参加者：120名(市民 103名、職員 17名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
11	・下水道工事について、平成25年12月に文書にて工事をしますとのことであったが、現在もまだ行われていない。現在の状況について伺いたい。	【生活環境部長】 ・文書を出したまま、連絡をしていないことについて、お詫びを申し上げます。詳細を把握できていないので、どのような状況なのかを確認して、後日、回答致します。	・8月24日、質問者宅を訪問。現地立会し、平成29年度に工事をするように説明し、了承頂きました。	・生活環境部
12	・カーブミラーの設置について、通常は2方向にミラーがあるが、近所に設置しているカーブミラーは、1方向にしかない。最近家の塀ができたため見通しが悪くなったので、もう1つ設置してほしい。	【建設部長】 ・四角の形で一面しかついていないのは、片方がブロック塀や樹木がないなど見通しが良くて、確認ができない方向だけを見るために設置した可能性があります。角度が90度の交差点の場合、一面だけで対応できるような場合は一面だけ設置のところもあります。現地を確認したうえで、対応したいと思います。	・平成28年8月24日(水)、要望者の方と市で現地立会を行い、現地には質問で出たブロック塀は施工されておらず、当面は1面のままで、問題が無いことを確認しました。 ・今後、ブロック塀等が施工され、見通しが悪くなった場合に、速やかに2面タイプに交換したいと考えております。	・建設部
13	・県道東予玉川線について、福成寺から旦之上まで街路灯が全然ないので、安全面から設置していただきたい。	【県・河川港湾課長】 ・担当部署に持ち帰って検討するので、具体的な場所について後で教えてください。	・平成28年8月24日(水)、要望者、県、市合同で現地立会を行い、街路灯設置の要望場所は、県道東予玉川線と県道孫兵衛作壬生川線の交差点であることを確認しました。 ・交通安全上は現状のままで問題ないと考えていますが、今後は交通状況等について確認するなど、経過観察致します。	・建設部
14	・新幹線を四国に誘致することについて、市の考えを伺いたい。	【市長】 ・北海道にも導入され、残されたのは四国だけになりました。ようやく、四国四県と経済会との足並みがそろいました。四国にも導入しようという機運が高まりました。知事会とか四国の市長会とか、そういうところから、国の方に押上げを図っています。新幹線は、基本計画ということで、まだ調査に入っていませんが、まず整備計画に格上げしてもらい、調査してもらい工事に入っていこうと考えています。客観的な見方では、40年ぐらいかかるという人もいますが、予算がついたら早いと思います。現在、四国側の路線をどうするか、JR西日本が岡山でどのように接続させるかが問題となっています。そのあたりを早くクリアできるようにしっかり取り組んでいきたいと思っています。十河信二さんの故郷として、リーダーシップを発揮して引っ張っていこうと思っています。皆様のご支援をお願いします。	—	・企画情報部